

# 藤市立塚越小学校における新型コロナウイルス感染症予防対策

～塚越小学校の児童が安心して学校生活を送るために～

Ver.2

## 登校前

保護者が児童の検温・健康観察を行う

### 症状なし

- 健康観察カードへの記録
- ハンカチ・ティッシュの用意
- 水筒の用意
- マスク(予備を必ずランドセルに入れておく)
- ビニール袋(数枚)
  - ・鼻をかんだティッシュや使用後のマスクを入れるため
  - ・マスクを外した時に保管するため



学校へ登校する

- \*登校時はマスクを着用
- \*通学班では1列に並んで歩き、おしゃべりはしない
- \*校門や昇降口等での密集が起こらないようにする

登校時間 8:00～8:20

### 症状あり

- 37.5度以上の発熱がある
- 咳がでる
- だるい
- のどが痛い
- 息苦しさがある
- 同居家族の健康状態も含む

学校を休む

健康観察カードの「症状あり」の項目にチェックがついたときは学校を休み、家庭で様子を見てください。(同居家族の健康状態も含みます。)発熱等の症状がある時は医療機関を受診してください。  
⇒「出席停止」の扱いになります。

## 登校時

- マスク着用→忘れてしまった場合は、担任に申し出る
- 登校後は速やかに石けんを使い、手を洗う
- 「健康観察カード」を提出する →忘れてしまった場合は、家庭科室で検温・健康観察を行う
- 学校で具合が悪くなった場合は、早めに申し出る→発熱や風邪症状などがある場合は、お迎えにより早退をする

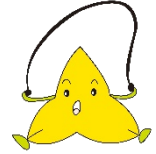
## 授業

- 換気をする
  - \*教室の天窓と廊下の窓は常時開放する
  - \*空気の流れができるように、対角線の窓と教室の出入口を常時開放する(こぶし2個程度)
  - \*空気清浄機作動時は、窓やドアを閉める。
  - \*天候等の関係で常時開けられないときは、休み時間には窓と入口を広く開け、換気を行う。
- 基本的にマスクを着用する ただし、次の場合は外してもよい
  - 体育時・熱中症の危険があるとき・十分な身体的距離が保たれているとき
- 児童同士の近距離での活動が入る授業では、飛沫防止ガードを使用する
- 「3つの密(密集、密接、密閉)」、「大声」を避ける
- 体育やクラブ活動など運動の場面においては、相手との身体的距離を確保し、近接する場面の頻度が多ならないように、移動エリアの制限や活動時間を工夫する
- 共用の教材・教具・情報機器などを使用する前後には石けんでの手洗いをする



## 休み時間

- 教室の窓と入口を全部開け、空気の入替えを行う
- 冷水機は各自のコップで使用する
- トイレ、流しの場所が密にならないように、間隔をあけて並ぶ
- 廊下や階段においての接触を避けるため、校舎内の通行方法(右側通行、走らない等)を守る
- お互いの体が接触しないよう距離をとって、落ち着いて生活する
- 校庭でのボールや遊具を使った遊びはしない
- 接触をともなう遊びはしない
- 図書室の本の貸し出し・返却はクラスごとに決められた日に行う
- 図書室利用の前後には手洗いをし、室内が密にならないように気を付ける
- 外から教室に入るときは石けんでの手洗いをし



## 給食

- 飛沫防止ガードの設置と机拭き、石けんを使った手洗いをし
- マスクは「いただきます」まで着用 食べるときにマスクをビニール袋等に入れて保管し、「ごちそうさま」の後、マスクを着用する
- 給食当番は担任から身支度と体調のチェックを受ける
- 配食は使い捨て手袋を着用する
- 配食中は無言で待つ
- 会話はせず、前を向いて食事をする
- 片付けは各自で行い、石けんでの手洗いをし



## 昼休み

- 歯みがきを行う場合は、流し場が密にならないようにする
- 口を閉じてブラッシングを行い、すすぎは少ない水で1~2回にとどめる
- お互いの体が接触しないよう距離をとって、落ち着いて生活する
- 教室へ入る前に手洗いをし



## 清掃

- 無言清掃
- マスク着用
- 教室・特別教室・廊下等:通常清掃を実施
- トイレ:床のほうき清掃、トイレトーパー・石けんの補充のみ実施
- 流し:行わない ※トイレ、流しの清掃はスクール・サポート・スタッフ、教員が行う
- 清掃終了後、石けんを使い、手洗いをし



## 下校

- 昇降口が密にならないように下校する
- 速やかに下校し、寄り道をしない

※感染症への抵抗力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスのとれた食事」を心がけましょう。  
※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、対策を変更する場合がございます。